



地域と医療のコラボレーション

第5号



2006 / JANUARY

発行 / 医療法人社団協友会 東大宮総合病院

編集 / 広報委員会

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614

<http://www.higashiomiya.or.jp/>

ハーモニー

Harmony 

特集

2006年を迎えて

東大宮総合病院の院長に赴任して3年目を迎える。病院機能評価の認定を取得したが、問題はまだまだ残されている。取り組むべき課題は、臨床研修病院として恥じない医療の質の確保、職員の人材育成と評価体制、院内のIT化、総合地域医療センターの設置、在宅医療へのシフトである。

まず、本年は当院として臨床研修が必修化される。初めて前期臨床研修医を受け入れることになる。研修医を育てることが、自らの診療体制を振り返るきっかけとなる。診療部門だけではなく、看護やメディカル部門でも研修医と共に研鑽を積んで頂きたい。

病院は収支だけではもう成り立たない。もちろん健全経営が第一であるが、忘れてはならないのが人材育成である。近年の厳しい医療環境では考える人材が求められている。経営難に陥った時、救いの手は人材しか無いが、今その育成は急務である。

次に診療情報の電子化である。既に、オーダーリングや電子カルテは開発されて久しいが、当上尾中央医科グループ（AMG）としては上尾中央総合病院を除いて時代の波に乗り遅れている。今年には総力を挙げてITの導入に力を注ぎたい。紙媒体の時代からの脱皮であり、機能評価に次いでステップアップが必要な時である。

さて最後は医療保険制度改正への対応である。医療費削減の政策誘導にひるむことなく、自院の進むべき道を明確にする必要がある。当院の訪問看護ステーションは質・量共に当AMGでは最も優秀であり、当院の自慢である。やる気のあるスタッフを擁し、地域に根ざし、住民の信頼を得て、地域ニーズにぴったり合致している。このステーションを中心とした、在宅医療の展開はこれからの東大宮総合病院の一つの目玉としていきたい。

成年にあたり、新しいハードルをいくつも飛び越えて行きたい。



病院理念 愛し愛される病院

～ 行動指針 ～

1. 私たちは、わかりやすい言葉で説明します
2. 私たちは、理解と同意のもとで正しい医療を提供します
3. 私たちは、誤りを素直に認め直す努力をします
4. 私たちは、患者さまの満足で提供した医療の質を評価します
5. 私たちは、診療経過を正確に記録に残します
6. 私たちは、患者さまの訴えや要望に応えるよう心がけます
7. 私たちは、笑顔をお忘れず優しい言葉で接し、迅速な対応を心がけます



東大宮総合病院
院長 坂本嗣郎

診療科だよ

耳鼻咽喉科

花粉症の季節はすぐ目の前です



耳鼻咽喉科 部長
大角 晶彦

花粉症とは・・・

花粉抗原による季節性アレルギー鼻炎で、くしゃみ、鼻汁、鼻づまりの鼻三大症状の現れたものを花粉症とよんでいます。日本では約60種類の植物によって花粉症を引き起こすとの報告があります。

スギ以外にも、ブタクサ等（樹木・草木・雑草類）の原因物質が吸入抗原となります。花粉抗原はそれぞれに飛散の時期をもっています。

花粉カレンダー

種類(50音順)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
イネ科												
カナムグラ (クワ科)												
カバノキ属 (カバノキ科)												
コナラ属 (ブナ科)												
スギ科												
ハシバミ属 (カバノキ科)												
ヒノキ科												
ブタクサ属 (キク科)												
マツ型												
ヤナギ属												
ヨモギ属 (キク科)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

※ 自分のアレルギーを確認するために検査を受けるのも良いでしょう

治療と予防には・・・

- ① かかりつけ医とのコミュニケーションをとる
- ② 各家庭での抗原の回避・除去
- ③ 薬物療法
- ④ 特異的免疫療法（アレルギーの専門をもつ病院）
- ⑤ 手術療法

抗原の回避と除去

大事なことは、発病の原因となるアレルギーを取り除くことです。完全に取除くこと、回避することは不可能でもアレルギーの吸入を減らす努力が必要です。

薬物療法

対症療法、発作防止として多くの抗アレルギー薬がありますが、根治療法には至っていません。症状がひどい時だけの服用では、服用を中止した時に症状が再発するので、自己判断で服用を中止することは避けましょう。

手術療法

繰り返される発作により薬物の効果がみられない鼻の粘膜に対して行ないます。鼻づまりの改善が手術の第一目的です。種類として、レーザー手術、電気凝固法等があります。

セルフケア

● 花粉情報には敏感に！

- ・ 新聞・テレビ・ネットでの花粉情報を有効利用しましょう
- ・ 飛散の多い日は外出を控えましょう

● マスクとめがねは花粉症の必需品！

- ・ マスク使用のコツは、安い花粉症用マスクの使い捨て
- ・ めがねの着用は目への花粉の侵入を約1/3に減らします

● 花粉を屋内に入れない！

- ・ 外出から帰ったら、玄関先で衣服をよくはたき、着替えるうがいと洗顔も効果的☆
- ・ シーズン中は家や車の窓を開けないように
- ・ 洗濯物は屋外に干さずに乾燥機か室内干しにするように
- ・ 外に干したら、取り込む時によくはたくこと

肩の体操

寒くなり、筋肉も緊張して固くなりやすい季節です。肩のこわばり、痛みなどないですか？
今回は五十肩についてお話します。

五十肩

肩関節周囲炎（一般的に五十肩）は、ある日突然肩が痛んで夜も眠れない、あるいは、じわじわと徐々に肩が痛くなるといった症状が特徴で、帯が結べない、髪がとかせない・・・といった状態になります。こうした痛みは1年～1年半位続くことがありますが、根気よく治療を続けることで改善します。

ここで五十肩予防の体操をご紹介します。この体操は痛みが出ない程度に毎日続けることが大切です。



リハビリテーション科 主任
佐治 暢

① 壁押し運動

しっかり肘を伸ばして両脇の間に首が入るように腕を伸ばし壁を押し



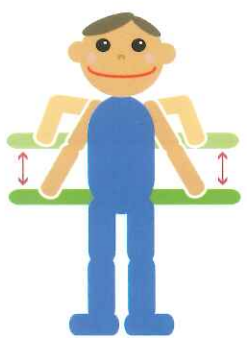
② 腕まわし体操

肘をしっかりと曲げて、肘の先で大きく円を描くようにまわします



③ 棒体操

両手で棒（タオルでもよい）を持ち、背中のお尻で上げ下げ



痛みが強くて体操ができない場合は、無理をせず、お近くの整形外科にご相談ください。

聞いて得する健康情報

第6回 健康講話

「皮膚科でよく使うぬり薬と足白癬」



皮膚科医長：原 陽一郎

平成17年10月22日（土）に行なわれた健康講話には24名の参加がありました。

水虫は、白癬菌というカビが皮膚に付着し、進入すると起こる感染症です。人にうつることもあるので、自分のためだけでなく、まわりの人のためにも完全に治療することが大切です。予防することも忘れずに！

- ・感染源を避けましょう
- ・乾燥させることを忘れずに
- ・清潔にしましょう
- ・通気を心がけましょう

より良い病院をめざして

当院の開放型病院は、厚生労働大臣の承認を受けた保険医療機関です



開放型病院とは、施設及び設備を近隣の開業医にできる限り開放し、開放病床を利用していただくシステムを備えた病院のことです。開業医と病院医の共同診療ができ、手術や検査なども一緒に実施することができます。開放型病院を有効利用することにより、地域住民のみならず、開業医の先生方「かかりつけ医」と病院「病診連携」とで情報の共有化が図れ、一貫した治療が受けられることで、医療に安心と信頼を築くことに繋がります。

東大宮総合病院では、開放型病院を多くの開業医の先生方に利用していただき、厚生労働省の推奨する「かかりつけ医」と「病診連携」をより推進させることはもとより、更なる地域医療の充実と発展を目指していきたいと思っております。

訪問介護

ホームヘルパーがご自宅まで訪問し、介護や家事援助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

- 身体介護：食事の介助 / 入浴・更衣の介助 / 身体清潔 / 排泄の介助やおむつ交換 / 体位交換の介助 / 通院・外出の介助
- 家事援助：掃除や整理整頓 / 洗濯 / 買い物 / 布団干し / 食事調理・配膳・片付け など

お問い合わせは・・・

東大宮ヘルパーステーション

☎ 048-688-5025 (直通)

訪問看護

看護師がご自宅まで訪問し、療養上の世話(看護)や診療の補助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

健康状態の観察と助言 / 清拭、洗髪や入浴の介助 / 褥瘡などの処置 / 療養環境の整備 / 留置カテーテル、各種医療機器の管理と指導 / 介護者の健康管理と精神的支援 / かかりつけ医の指示による処置・検査 など

◆理学療法士による、訪問リハビリも行っております

お問い合わせは・・・

東大宮訪問看護ステーション

☎ 048-688-8388 (直通)

医療相談

病气やけがをすると、健康なときには考えなかった不安や心配事、患者さまやご家族の経済的・社会的な問題が起こってきます。そんなとき、当相談室をご利用ください。

たとえば・・・

- 療養のための施設入院を希望している
- 健康保険、年金、各種手当の内容や手続きについて知りたい
- 退院後の生活、職場復帰が不安
- 病气や治療に対して不安や恐れがあり治療に専念できない
- 治療費や通院費が高額なので心配・・・など

お問い合わせは・・・

東大宮総合病院

☎ 048-684-7111 (代表)

医療相談室

当院の

数字アラカルト

外来患者数	765.3人/日
入院患者数	260.0人/日
在院日数	16.3日
ベッド稼働率	82.0%
紹介率	20.4%
救急件数	211.3件/月
訪問看護	627.2件/月
訪問介護	746.0件/月
訪問リハビリ	198.0件/月

(平成17年7～11月平均)

介護型療養から医療型療養へ

昨年10月より介護保険法一部改正に伴い、患者さまの実費負担増等を考慮し、介護型療養病棟から医療型療養病棟に変更しました。

介護保険使用のショートステイ(3床)は今までどおりご利用いただけます。(ただし、居住費1日あたり¥500の負担と食事関連料金の変更あり)

介護療養型医療施設【療養型I型】

変更

療養病棟入院基本料1

療養病棟環境加算2 特殊疾患入院施設管理加算

詳しくは医療相談室までお問い合わせください。

編集後記

病院機能評価認定を受けたことで満足せず、より質の高い医療サービスの提供と地域のみなさまへの広報活動を活発にし、選ばれる病院、そして「愛し愛される病院」を目指します。

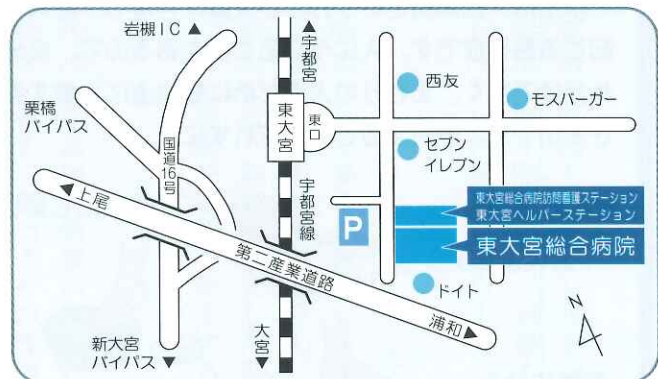
医療法人社団協友会



東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614



JR宇都宮線「東大宮」駅下車
東口より徒歩3分